

| | | | |
|---|-----------------------------------|-------------|-------------------------------|
| 授業科目名： 視覚障害の心理・生理・病理Ⅱ | 教員の免許状取得のための 必修科目 | 単位数： 2単位 | 担当教員名： 澤田真弓 担当形態： 単独 |
| 実務内容 (実務家教員の場合) | | | |
| 科目 | 特別支援教育領域に関する科目 | | |
| 施行規則に定める 科目区分又は事項等 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | | |
| 「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力） | | | |
| 授業のテーマ及び到達目標 (1) 視覚障害の心理・生理・病理に関する基礎事項（視覚障害、視機能、眼疾患）について説明することができる。 (2) 視覚障害の実態把握の視点と方法について説明することができる。 (3) 視覚障害児の視機能評価や発達評価、心理評価について説明することができる。 (4) 視覚障害児の概念形成、社会性の発達とその指導について説明することができる。 (5) 家庭や医療機関と連携の在り方について説明することができる。 | | | |
| 授業の概要 視覚障害の心理・生理・病理Ⅰで学修した視覚障害に関する基礎事項を踏まえ、視覚障害の心理・生理・病理Ⅱでは、幼児、児童生徒一人一人の視覚障害の実態把握の視点と方法について学ぶとともに、概念形成や社会性の発達等への指導等にどのようにつなげていくのか、家庭や医療機関とどのように連携を図るのかについて学ぶ。 | | | |
| 授業計画 第1回：視覚障害の基礎知識の確認（視覚障害、視機能、眼疾患） 第2回：光覚・色覚・形態覚の特徴 第3回：触知覚・視覚認知の特徴 第4回：視覚障害の実態把握の視点（視覚、触覚、聴覚、概念形成） 第5回：視覚障害の実態把握の方法 第6回：視機能評価・発達評価・心理評価の実際 第7回：視覚障害児の知能・記憶・思考 第8回：視覚障害児の概念形成と指導①（言葉の概念形成と指導） 第9回：視覚障害児の概念形成と指導②（空間の概念形成と指導） 第10回：視覚障害児の発達と支援①（発達における視覚の役割） 第11回：視覚障害児の発達と支援②（社会性の発達） 第12回：見る機能の発達を促す指導 第13回：視覚補助具の特性と指導 第14回：自己の障害受容と対応への配慮 第15回：家庭や医療機関との連携 定期試験 | | | |
| スクーリングでの学修 | | | |
| テキスト 小林秀之・澤田真弓編（2023）『特別支援教育のエッセンス 視覚障害教育の基本と実践』慶應義塾大学出版会 ISBNコード:978-4-7664-2861-2 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課（2021）『障害のある子供の教育支援の手引 ～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～』 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm | | | |
| 参考書・参考資料等 宮本信也・竹田一則編（2007）『障害理解のための医学・生理学』明石書店 ISBNコード：978-4-7503-2546-0 独立行政法人国立特別支援教育総合研究（2020）『特別支援教育の基礎・基本2020』ジアース教育新社 ISBNコード：978-4-86371-548-6 | | | |
| 学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%） | | | |